



シラバス参照

タイトル「2014年度 経済学部シラバス」、フォルダ「2014年度 経済学部シラバス-専門科目(基礎専門科目)」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	商法〔会社法Ⅰ〕		
担当教員	清弘 正子		
対象学年		クラス	E1
講義室		開講学期	前期
曜日・時限	水 3	単位区分	
授業形態	講義	単位数	2
準備事項			
備考	標準履修年次 2年生		
科目名(英語表記)	Company Law Ⅰ		
開設学科	市場環境学科		
研究室	本館棟 E-404		
オフィスアワー			
授業の概要	<p>現代社会における経済活動の多くを担っているのは、「会社」、特に「株式会社」である。会社・株式会社が経済社会において重要な役割を果たすことができるのは、これが、資金・労力を結合させ、また事業活動上のリスクを分散させることのできる制度として、すなわち、大規模事業を営むのに適する制度として設計されているからである。このような会社・株式会社制度の「設計」を行っているのは、会社の種類・組織・活動に関する法である「会社法」である。本講義では、この「会社法」の基礎を学ぶ。</p>		
授業計画	回	内容	
	1	ガイダンス	
	2	1. 会社法総論	
	3	2. 会社総論 2-1. 会社とは何か	
	4	(続)	
	5	2-2. 会社の種類	
	6	(続)	
	7	3. 株式会社総論	
	8	(続)	
	9	(続)	
	10	(続)	
	11	4. 株式概説	
	12	(続)	
	13	5. 機関概説	
	14	(続)	
	15	6. 設立概説	
到達目標	会社法および株式会社法の基礎を理解し、条文に基づいて論理的に説明することができる。		

成績評価方法	学期末の定期試験により評価する。 なお、場合によっては、授業中に発言を求めたり、アンケートや小テストなどを行うことがあるが、これらについては、プラス点と認めることのできるもののみを評価に加味する。
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加藤徹・塚本和彦編『新会社法の基礎（第2版）』法律文化社、2013年 ・ 六法（2014年版）（『ポケット六法（平成26年版）』有斐閣等）
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大隅健一郎・今井宏・小林量『新会社法概説(第2版)』有斐閣、2010年 ・ 木俣由美『VIRTUAL 会社法（第3版）』悠々社、2008年 ・ 石山 卓磨 他『ハイブリッド会社法』法律文化社、2012年 ・ 吉本健一『会社法』中央経済社、2010年
授業時間外学習	講義1回につき2時間程度、自主的に学習することが必要です。予備知識のない状態で講義を理解することは難しいので、条文を読んで理解しておくなど、予習に力を入れることを勧めます。
受講を推奨する関連科目	「法律学概論」、「民法〔総則〕」、「民法〔債権各論〕」、「商法」の各科目、「経営学総論Ⅰ」
履修上の注意・メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最新六法必携 ・ 「民法〔総則〕」および「民法〔債権総論〕」を履修済みであるかその知識を有することが望ましい。

